

# Aidemy for Schoolご紹介

---



# 株式会社アイデミーの概要

代表取締役

石川 聡彦 (Akihiko Ishikawa)

会社理念

先端技術を、経済実装する。

所在地

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-1 山甚ビル3F

技術  
アドバイザー

國吉 康夫 教授 (東京大学大学院情報理工学系研究科)

株主

経営陣, 東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH), Skyland Ventures, 大和企業投資, ダイキン工業, テクノプロ, 東京大学協創プラットフォーム開発 (東大IPC), 千葉道場ファンド, 個人投資家

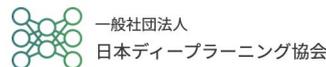
資本金

9.89億円 (資本剰余金含む。2021/1/1現在。)

従業員数

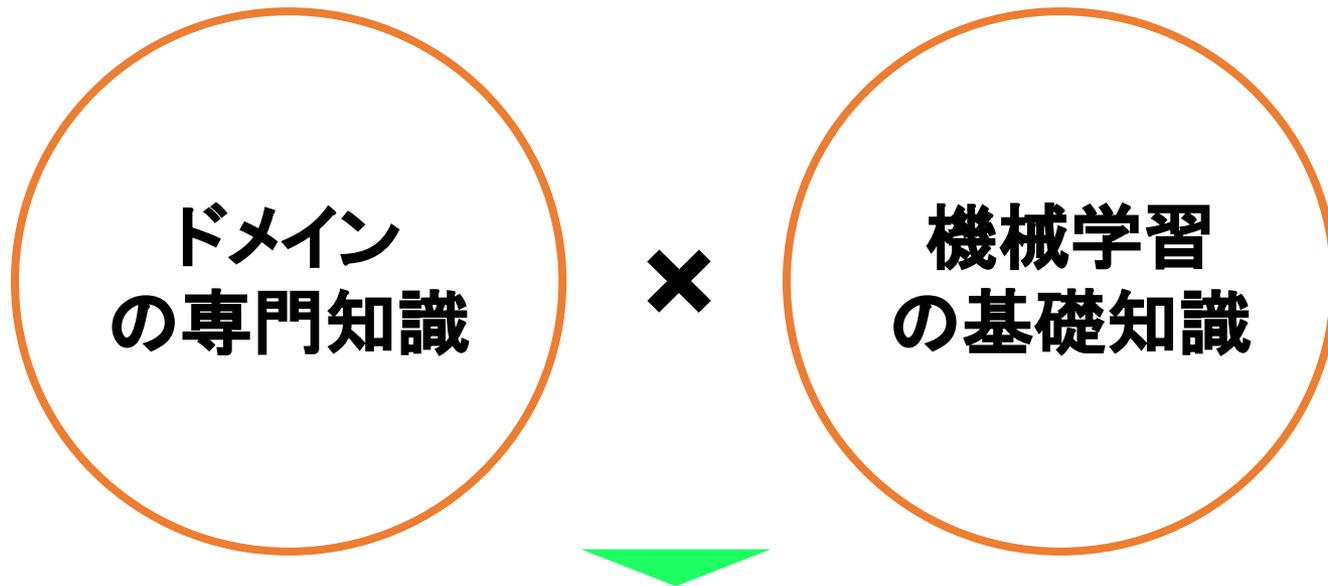
79名 (アルバイト含む。2021/1/1現在。)

加盟団体



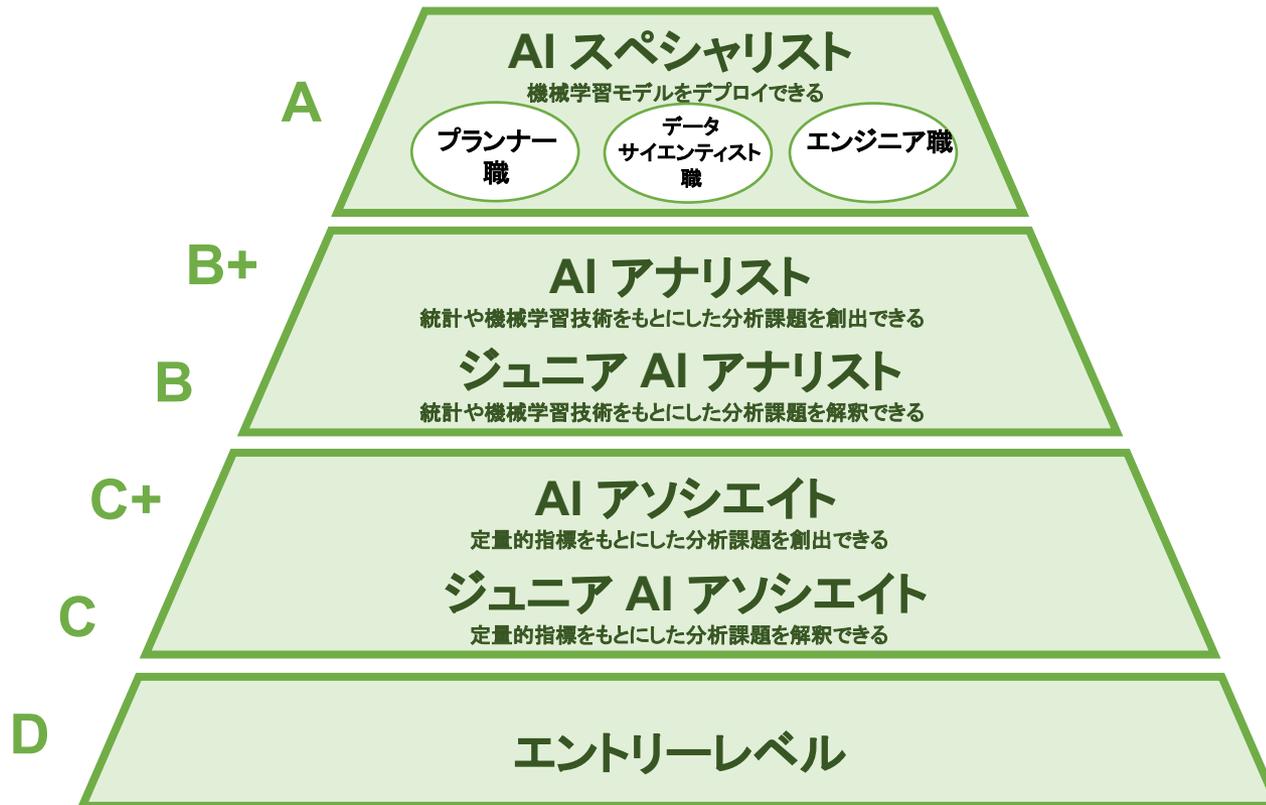
合計50社~導入





供給過少なAIプランナー/エンジニアを採用するより、  
ドメインの専門知識を持つ社内人材を育成する方が良い。

- AIスキルの習熟度に合わせて6つのレベルに分類



- AIの習熟度レベルに応じ、それぞれ以下のようなコミュニケーションが可能になる

| レベル | コミュニケーション例   | 対応関係  |
|-----|--|---|
| A   | XXXという機械学習モデルをデプロイしましょう。今回は <b>応答性の要求水準</b> は高くないので、クラウド側実装で良いと思います。また、YYY日おきにモデルを <b>再学習</b> する必要がありますので、ZZZという実装でモデルの有効性を <b>監視</b> しましょう。 | 機械学習モデルの <b>デプロイ</b>  |
| B+  | デッキ分析の結果を参考に、XXXからYYYを推測するモデルを作れませんかね？そうすると、ZZZというビジネスインパクト があると思います。  | <b>統計・機械学習</b> をもとにした <b>課題創出</b>   |
| B   | XXXからYYYを推測する <b>機械学習モデル</b> なんです。精度 ZZZ%なのであれば、 <b>実運用</b> しても問題なさそうです。   | <b>統計・機械学習</b> をもとにした <b>課題解釈</b>   |
| C+  | いまのタイトルには <b>XXX</b> という課題 があります。なので、長期的なゲーム価値を考えると、売上ではなくYYYという指標を分析・可視化 して打ち手を考えたいですね。   | <b>定量的指標</b> をもとにした <b>課題創出し</b> 、新たなKPIを提案   |
| C   | なるほど。デッキ分析からXXXというデータ読み取れ ます。このデータとゲームの特性から考えると、YYYという課題がわかります。  | (1) <b>定量的指標</b> を正しく <b>読解</b> (C-レベル)<br>(2) <b>定量的指標</b> をもとにした <b>課題解釈</b> (Cレベル) |
| D   | うーん。そもそもなぜ定量評価する意味があるんですかね。次の施作への活かし方も良くわからないです。   |   |

# Aidemy for School の位置づけ

---



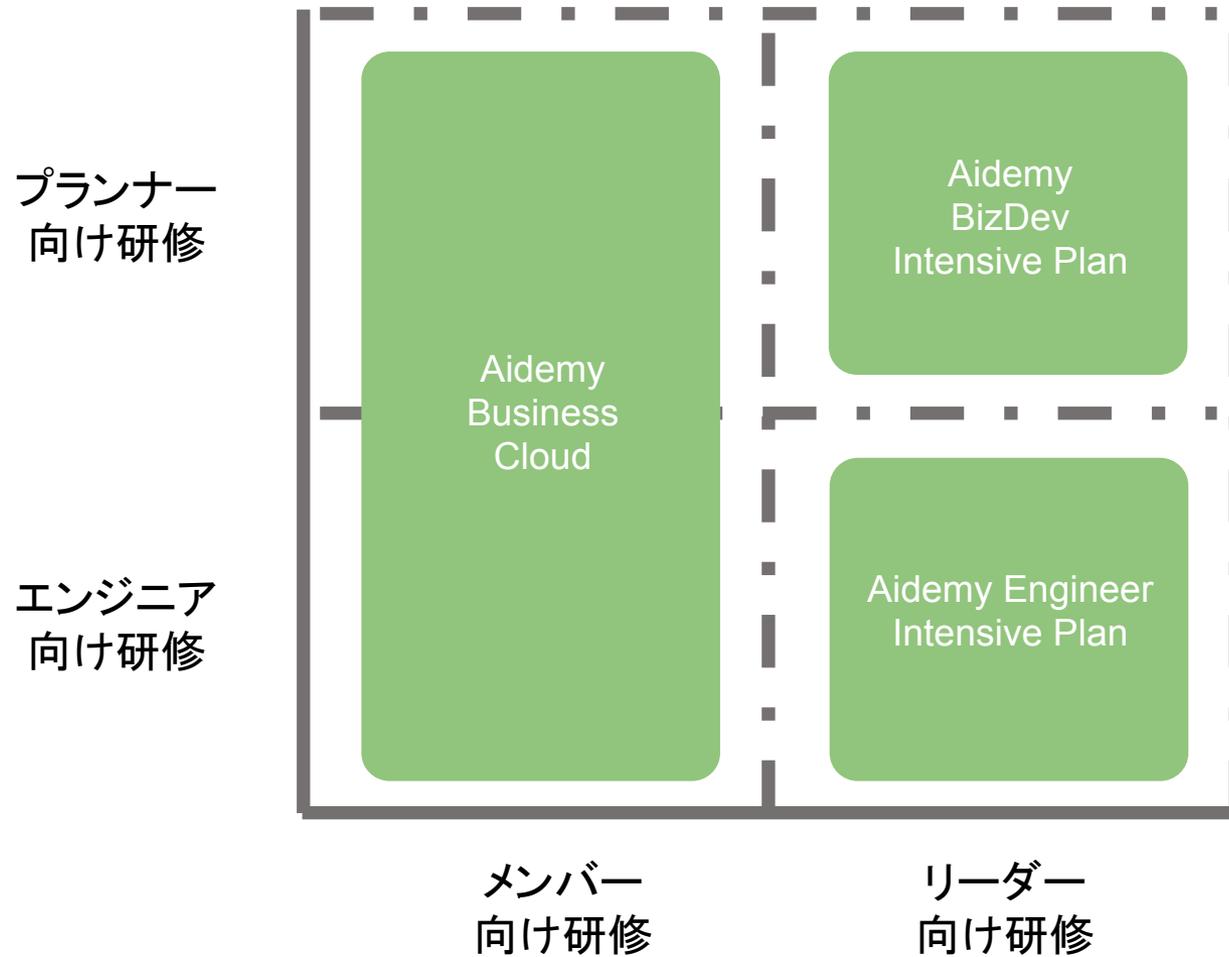
AidemyはAIに取り組む組織を支えるサービスです。

新規事業で  
AIチームを  
立ち上げるために

会社カルチャーを  
データドリブン  
にしていくために

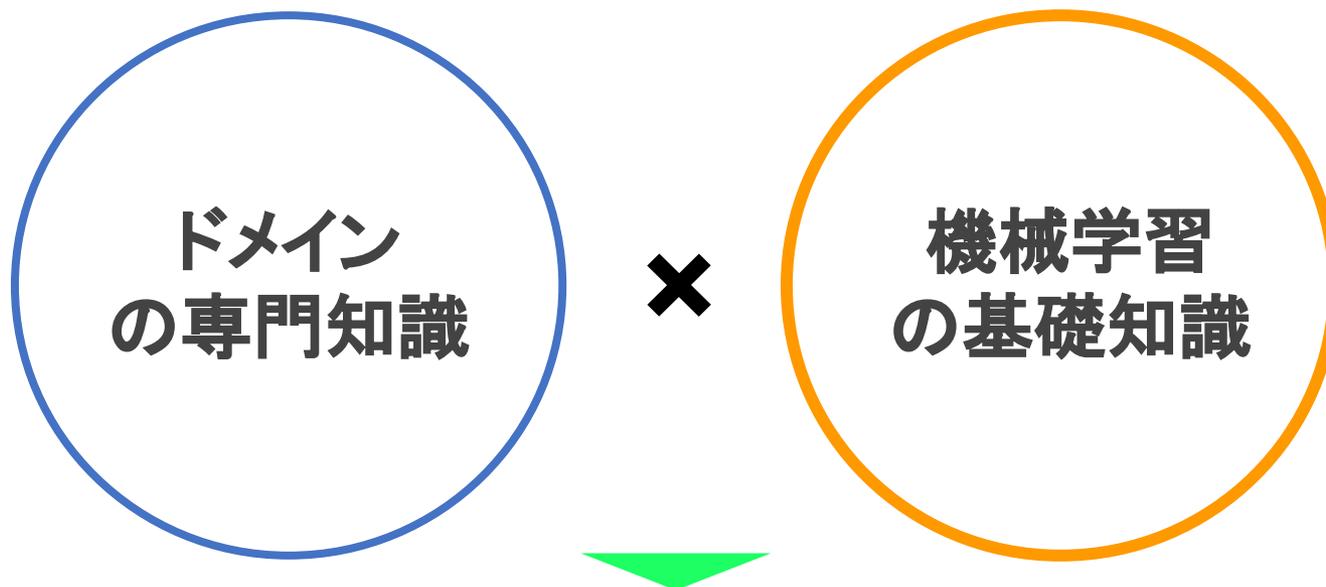
経営課題として  
ソフトウェアの  
取り組みを加速  
するために

Aidemyの持つ豊富なAIのコンテンツやノウハウをオンラインで提供し、  
全社への技術・カルチャー浸透に向けてサービスの設計を行います。

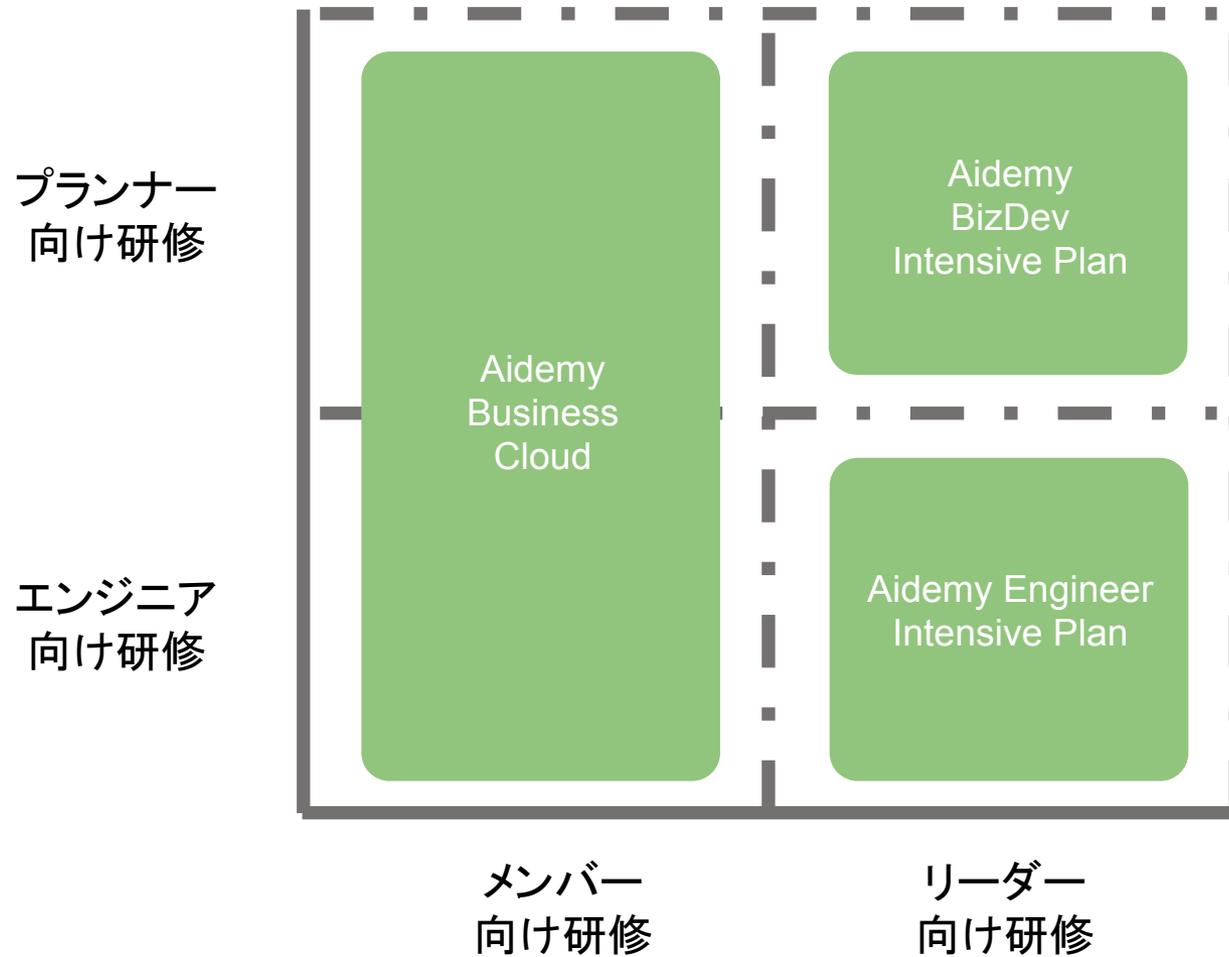




**Aidemy Businessのサービスをもとに  
“将来の”ビジネスパーソンとしての学生の皆さんを対象に、お求め  
やすくアレンジしたサービス**

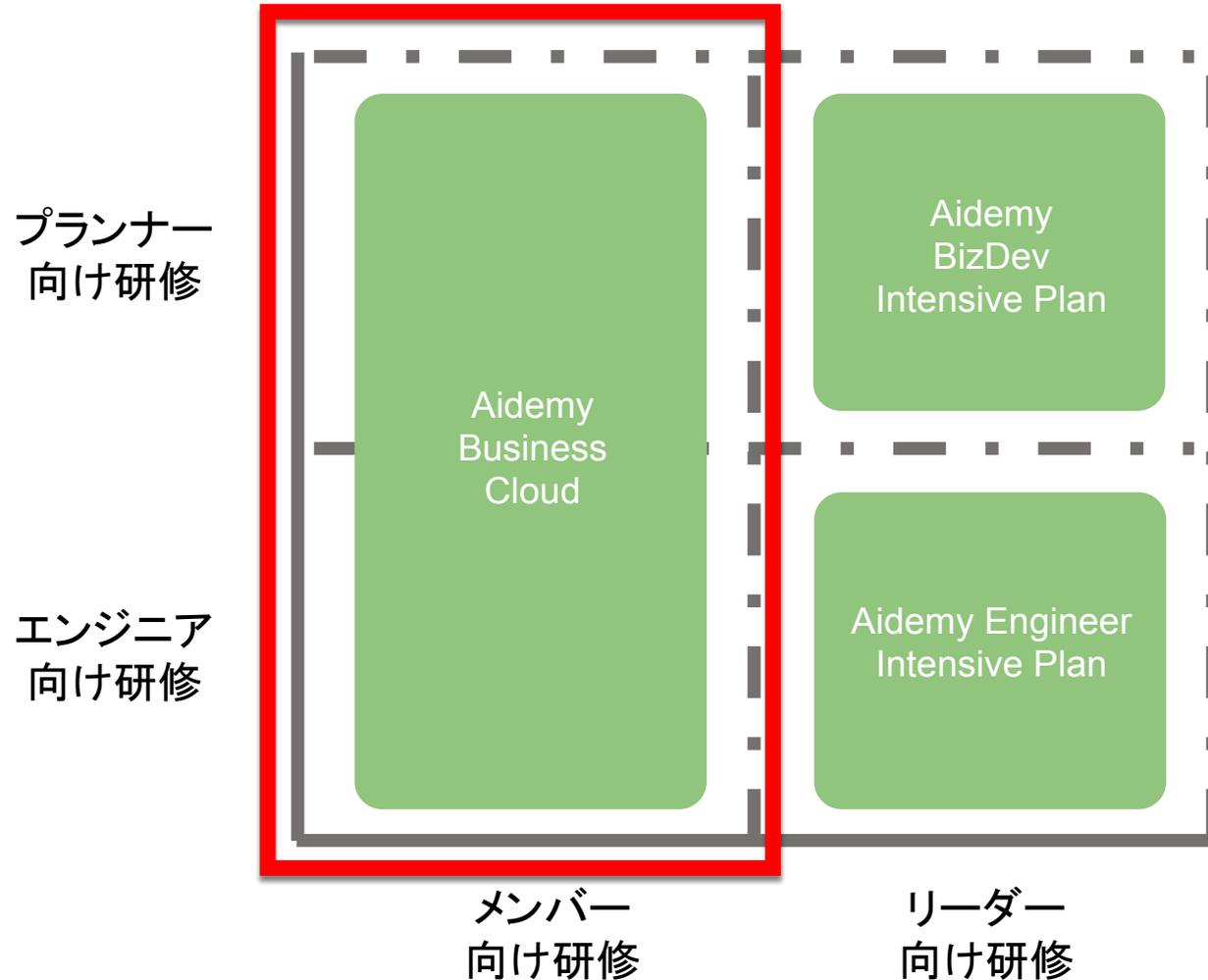


供給過少なAIプランナー/エンジニアを採用するより、  
ドメインの専門知識を持つ社内人材を育成する方が良い。





## Aidemy for School



# Aidemy for School 導入事例

---





聖光学院  
中学校高等学校

## Python習得は高校1年生から

～応用技術も学べるコンテンツで、生徒の探求力が向上～

### 課題

---

- 発展的な実習時間を十分確保することができない
- コーディングの実践力を身につけるための機会が不足

### 効果

---

- 応用技術も学べるコンテンツで生徒の探求力が向上
- ブラウザ上でコーディングを簡単に学ぶことができ、初学者のハードルが低下

### 今後の活用

---

オリジナル教材の開発を進めながら、より早い段階から意欲的な中学生徒に「Pythonや機械学習で出来ること」の学習機会を設けていきたいと考えております。

# Aidemy for School 概要

---



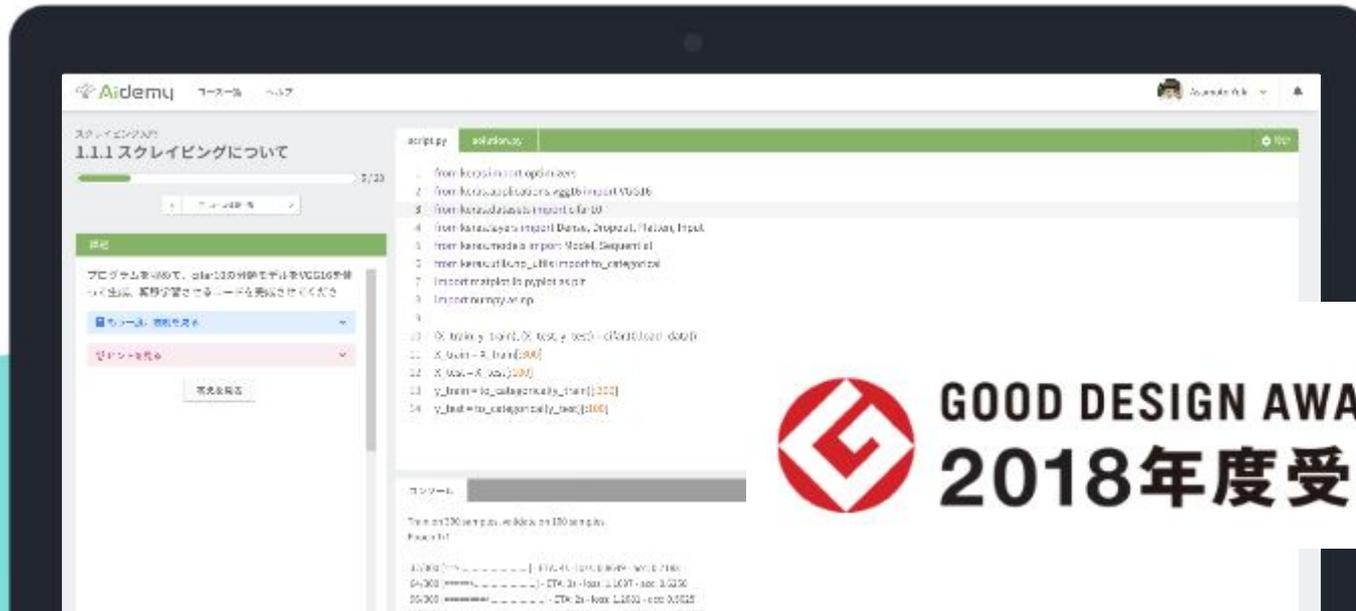
# What's Aidemy for School

AidemyはAIに取り組む組織を支えるサービスです。



【ユーザー数No.1 / 満足度No.1 / 経営者が選ぶAI学習No.1について】

調査方法:インターネット調査 調査期間:2019年12月16日～17日 調査概要:AI学習10社を対象にしたサイト比較イメージ調査  
 調査対象:全国の20代～50代の男女(経営者対象)1094名 アンケートモニター提供元:ゼネラルリサーチ



AidemyはAIに取り組む組織を支えるサービスです。

AI学習サービス  
ユーザー数  
**No.1**

AI学習サービス  
コード実行回数  
**No.1**

AI関連の講座  
**80**コース  
以上受け放題

B2CサービスとB2Bサービスの両者を保有する  
Aidemyだからできる充実のサービスを提供します。

# What's Aidemy for School

補完機能やハイライト機能も揃った  
使いやすいオンラインエディタ

The screenshot displays the Aidemy online editor interface. On the left, there is a sidebar with a lesson titled '1.1.1 深層学習を体験してみよう'. The main area is divided into three sections: a code editor, a plot viewer, and a console. The code editor shows Python code for a neural network model. The plot viewer displays a line graph with 'epoch' on the x-axis and 'accuracy' on the y-axis, showing 'acc' (blue line) and 'val\_acc' (orange line) increasing over 4 epochs. The console at the bottom shows the output of the training process, including epoch numbers, loss, and accuracy values.

深層学習 (ディープラーニング)

1.1.1 深層学習を体験してみよう

今回の講座では、ディープラーニングのなかでも最も基本的なアルゴリズムである、ディープニューラルネットワークを扱います。  
また、ライブラリは **Keras + Tensorflow** を利用していきます。Tensorflow とは、Google 社製のディープラーニング用ライブラリであり、最も人気のあるディープラーニングライブラリの一つです。Keras とは、Tensorflow を扱いやすくするためのライブラリで、「ラッパー」と呼ばれています。  
コードの各内容についてはこの後のセッションで詳しく説明していきます。

課題

次のコードを **RUN(実行)** してエポック数が増えるにつれて正解率 **acc** と **val\_acc** が上がっている様子を確認してみましょう。

```

18 y_train = to_categorical(y_train)[:6000]
19 y_test = to_categorical(y_test)[:1000]
20
21 model = Sequential()
22 model.add(Dense(256, input_dim=784))
23 model.add(Activation("sigmoid"))
24 model.add(Dense(128))
25 model.add(Activation("sigmoid"))
26 model.add(Dropout(rate=0.5))
27 model.add(Dense(10))
28 model.add(Activation("softmax"))
29 mo
30 model
31 models
32 sigmoid
33 import

```

```

Train on 6000 samples, validate on 1000 samples
Epoch 1/5
500/6000 [====>] - ETA: 1s - loss: 2.6870 - acc: 0.1280
2000/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.5858 - acc: 0.1145
3500/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.4964 - acc: 0.1263
5000/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.4302 - acc: 0.1406
6000/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.3911 - acc: 0.1503 - val_loss: 2.0413 - val_acc: 0.
Epoch 2/5
500/6000 [====>] - ETA: 1s - loss: 2.3911 - acc: 0.1503 - val_loss: 2.0413 - val_acc: 0.
2000/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.3911 - acc: 0.1503 - val_loss: 2.0413 - val_acc: 0.
3500/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.3911 - acc: 0.1503 - val_loss: 2.0413 - val_acc: 0.
5000/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.3911 - acc: 0.1503 - val_loss: 2.0413 - val_acc: 0.
6000/6000 [====>] - ETA: 0s - loss: 2.3911 - acc: 0.1503 - val_loss: 2.0413 - val_acc: 0.

```

matplotlibなど画像の出力にも対応した  
Aidemy独自開発のコンソール

Aidemyが独自開発したコンテンツと  
知識を定着させるための課題

実際にコードを書く実践を絡めた演習を行うことにより、AIプログラミングに関する知識の定着を図れます。

1. テキストや動画教材で理解する

```
1 import numpy as np
2 import matplotlib.pyplot as plt
3 from keras.datasets import mnist
4 from keras.layers import Activation, Dense, Dropout
5 from keras.models import Sequential, load_model
6 from keras.optimizers import Adam
7 from keras.utils.np_utils import to_categorical
8
9 (x_train, y_train), (x_test, y_test) = mnist.load_data()
10
11 x_train = x_train.reshape(x_train.shape[0], 784) / 255.
12 x_test = x_test.reshape(x_test.shape[0], 784) / 255.
13 y_train = to_categorical(y_train, 10)
14 y_test = to_categorical(y_test, 10)
15
16 model = Sequential()
17 model.add(Dense(784, input_dim=784))
```

2. コードを書いて実践する

管理者はチームに所属しているメンバーの進捗を確認できます。  
カリキュラム進捗度を降順に並べることで、活躍しているメンバーがわかります。



The screenshot displays the Aidemy Business management interface. On the left is a sidebar with navigation options: 'メンバー(28)', 'ランキング', 'メンバーの管理', and '設定'. The main area shows a list of six team members, each with a profile icon, name, completion date, and a progress bar indicating their curriculum completion rate.

| メンバー名  | 最終セッションクリア日時 | カリキュラム進捗率 |
|--------|--------------|-----------|
| モニター-A | 2018.06.01   | 90%       |
| モニター-B | 2018.07.13   | 76%       |
| モニター-C | 2018.06.06   | 54%       |
| モニター-D | 2018.07.03   | 46%       |
| モニター-E | 2018.07.14   | 42%       |
| モニター-F | 2018.07.13   | 27%       |

# 【ご参考】実際の企業での演習状況

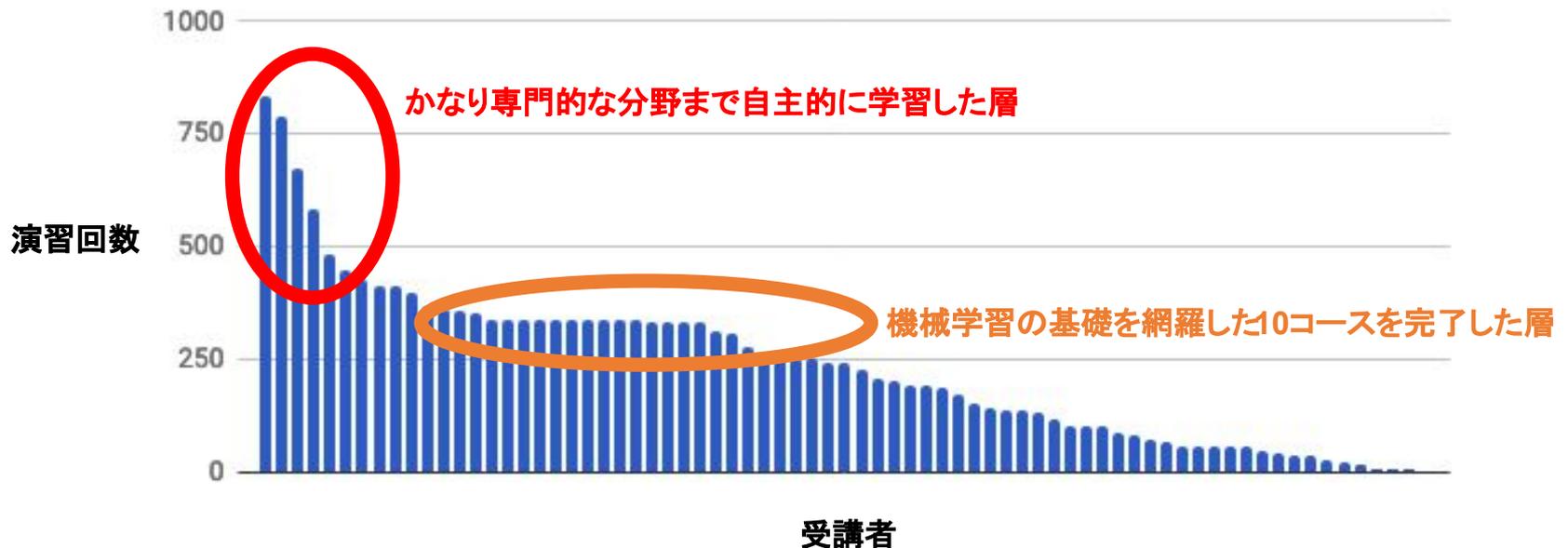
対象会社: 社員規模10,000名以上の大企業

対象者: 会社が指定した74名

契約ライセンス数: 80

チーム参加人数: 74

合計演習回数: 17,292回 (1人あたり平均233.7回)



# What's Aidemy for Schoolの管理画面

管理者は学生が受講すべき「カリキュラム」を設定できます。「カリキュラム」を複数用意してユーザーごとに設定することも可能で、弊社コンサルタントからおすすめのカリキュラムもご案内します。

The screenshot displays the Aidemy management interface. At the top, there is a navigation bar with 'Aidemy', 'コース', '受講ルート', '料金プラン', and user profile icons. The main content area is split into two columns. The left column shows the school profile for 'JPHACKS2018-1' with 43 members and a '設定' (Settings) button. The right column is titled 'カリキュラム設定' and contains a list of courses. Under '未選択のコース' (Unselected courses), there are three items: 'IoTデバイスへの機械学習モデルのデプロイ' (Lv 4, Algorithms, Deep Learning), 'スクレイピング入門' (Lv 2, Data Handling), and '時系列解析III (LSTM応用)' (Lv 4, Algorithms, Deep Learning). Under '選択中のコース' (Selected courses), there are three items: '時系列解析II (RNNとLSTM)' (Lv 4, Algorithms, Deep Learning), '日本語テキストのトピック抽出' (Lv 4, Unset), and '教師あり学習 (分類)' (Lv 3, Algorithms). A 'Python入門' (Python Introduction) course is partially visible at the bottom.

管理者から一人ひとりのコース進捗を管理画面から参照できます。



The screenshot shows the management interface for a member named 'モニターE'. The interface is divided into a left sidebar and a main content area. The sidebar contains the following elements:

- Aidemy logo
- コース 受講ルート
- 料金プラン
- メンバー(28)
- ランキング
- メンバーの管理
- 設定

The main content area displays the member's profile and course progress:

- モニターE** (with a profile icon)
- 管理者権限 (checked) 受講ライセンス (checked)
- メンバーから削除 (button)
- カリキュラム進捗率: 27% (with a progress bar)
- 2018.07.13 / 最終セッションクリア日時
- Course order tabs: コース順 (selected), 進捗昇順, 進捗降順
- Four course progress cards:

| コース名          | レベル  | 所要時間  | タグ                  | 完了セッション数 | 進捗率  | ステータス     |
|---------------|------|-------|---------------------|----------|------|-----------|
| Python入門      | Lv 1 | 4時間   | プログラミング基礎 Python    | 2/54     | ~4%  | 進行中       |
| 機械学習概論        | Lv 1 | 1.5時間 | アルゴリズム Python       | 22/22    | 100% | Complete! |
| ディープラーニング基礎   | Lv 3 | 3時間   | アルゴリズム, 深層学習 Python | 0/25     | 0%   | 未開始       |
| NumPyを用いた数値計算 | Lv 1 | 1.5時間 | データハンドリング Python    | 21/21    | 100% | Complete! |

本日お配りした「Aidemy for  
School 無料お試しアカウント」にア  
クセス

<https://event0625.aidemy.jp>



The screenshot shows the Aidemy login interface. At the top center is the Aidemy logo, consisting of a stylized tree icon and the word "Aidemy". Below the logo is the text "ログイン" (Login). There are two input fields: the first is labeled "メールアドレス" (Email address) and the second is labeled "パスワード" (Password) and contains a series of dots. Below the password field is a link that says "パスワードを忘れた場合" (If you forgot your password). At the bottom right is a green button labeled "ログイン" (Login).

教材に関する質問をメールで問い合わせることができます。



## オリジナル教材の作成



貴学独自の教材を弊社で作成し、Aidemy Business for School上で教材を配信できます。

オリジナル教材は内部向けにリリースすることも、学校広報の一環として広く一般にリリースすることも可能です。

なお、内部向けに教材をリリースする場合、一般用から隔離されたデータベースに保存されます。



日本マイクロソフトと共同開発した教材「IoTデバイスへの機械学習モデルのデプロイ」

# Appendix

---



## テスト一覧(全6種類)

---



# テスト-ビジネス職向け(1/4)

アセスメントテスト

問題数: 10  
制限時間: 15分

総合テスト

問題数: 20  
制限時間: 30分

## 出題範囲

| 出題範囲   |       |         |        |            |                          |          |           |                |                       |       |             |                   |             |                 |                      |             |                |                  |                |          |
|--------|-------|---------|--------|------------|--------------------------|----------|-----------|----------------|-----------------------|-------|-------------|-------------------|-------------|-----------------|----------------------|-------------|----------------|------------------|----------------|----------|
| 機械学習概論 | 統計学基礎 | はじめてのAI | ビジネス数学 | マスクド・アナライズ | ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化) | Python入門 | スクレイピング入門 | 日本語テキストのトピック抽出 | IoTデバイスへの機械学習モデルのデプロイ | 統計学標準 | AIマーケター養成講座 | ケーススタディで学ぶ実践PoC入門 | データサイエンス超入門 | 投資対効果を最大化するAI導入 | ライブラリ「Pandas」基礎(表計算) | ディープラーニング基礎 | 時系列解析Ⅲ(LSTM応用) | 時系列解析Ⅱ(RNNとLSTM) | 自然言語処理を用いた質問応答 | 深層強化学習発展 |
| ○      | ○     | ○       | ○      | ○          | ○                        | ○        | ○         | ○              | ○                     | ○     | ○           | ○                 | ○           | ○               |                      |             |                |                  |                |          |

・習熟度を確認しやすくするため、カリキュラムで選択した講座を対象としたテストも作成可能です。

# テスト-システムエンジニア職向け(2/4)

アセスメントテスト

問題数: 15  
制限時間: 20分

総合テスト

問題数: 30  
制限時間: 40分

## 出題範囲

| 出題範囲   |       |         |        |            |                          |          |           |                |                       |       |             |                   |             |                 |                      |             |                |                  |                |          |
|--------|-------|---------|--------|------------|--------------------------|----------|-----------|----------------|-----------------------|-------|-------------|-------------------|-------------|-----------------|----------------------|-------------|----------------|------------------|----------------|----------|
| 機械学習概論 | 統計学基礎 | はじめてのAI | ビジネス数学 | マスクド・アナライズ | ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化) | Python入門 | スクレイピング入門 | 日本語テキストのトピック抽出 | IoTデバイスへの機械学習モデルのデプロイ | 統計学標準 | AIマーケター養成講座 | ケーススタディで学ぶ実践PoC入門 | データサイエンス超入門 | 投資対効果を最大化するAI導入 | ライブラリ「Pandas」基礎(表計算) | ディープラーニング基礎 | 時系列解析Ⅲ(LSTM応用) | 時系列解析Ⅱ(RNNとLSTM) | 自然言語処理を用いた質問応答 | 深層強化学習発展 |
| ○      | ○     | ○       | ○      | ○          | ○                        | ○        | ○         | ○              | ○                     |       |             |                   |             |                 | ○                    | ○           |                |                  |                |          |

・習熟度を確認しやすくするため、カリキュラムで選択した講座を対象としたテストも作成可能です。

# テスト-エンジニア職向け(3/4)

アセスメントテスト

問題数: 25  
制限時間: 30分

総合テスト

問題数: 50  
制限時間: 60分

## 出題範囲

| 出題範囲   |       |         |        |            |                          |          |           |                |                       |       |             |                   |             |                 |                      |             |                |                  |                |          |
|--------|-------|---------|--------|------------|--------------------------|----------|-----------|----------------|-----------------------|-------|-------------|-------------------|-------------|-----------------|----------------------|-------------|----------------|------------------|----------------|----------|
| 機械学習概論 | 統計学基礎 | はじめてのAI | ビジネス数学 | マスクド・アナライズ | ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化) | Python入門 | スクレイピング入門 | 日本語テキストのトピック抽出 | IoTデバイスへの機械学習モデルのデプロイ | 統計学標準 | AIマーケター養成講座 | ケーススタディで学ぶ実践PoC入門 | データサイエンス超入門 | 投資対効果を最大化するAI導入 | ライブラリ「Pandas」基礎(表計算) | ディープラーニング基礎 | 時系列解析Ⅲ(LSTM応用) | 時系列解析Ⅱ(RNNとLSTM) | 自然言語処理を用いた質問応答 | 深層強化学習発展 |
| ○      | ○     | ○       | ○      | ○          | ○                        | ○        | ○         | ○              | ○                     |       |             |                   |             |                 | ○                    | ○           | ○              | ○                | ○              | ○        |

・習熟度を確認しやすくするため、カリキュラムで選択した講座を対象としたテストも作成可能です。

| 対象者    | テスト名        | 問題数 | 制限時間 (分) |
|--------|-------------|-----|----------|
| G検定受講者 | G検定対策問題集 1  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 2  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 3  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 4  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 5  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 6  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 7  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 8  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 9  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 10 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 11 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 12 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 13 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 14 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 15 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 16 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 17 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 18 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 19 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 20 | 11  | 10       |

・問題集1～20の難易度に違いはございません。様々な難易度の問題が入っております。

| 対象者    | テスト名        | 問題数 | 制限時間 (分) |
|--------|-------------|-----|----------|
| G検定受講者 | G検定対策問題集 1  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 2  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 3  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 4  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 5  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 6  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 7  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 8  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 9  | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 10 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 11 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 12 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 13 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 14 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 15 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 16 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 17 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 18 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 19 | 11  | 10       |
|        | G検定対策問題集 20 | 11  | 10       |

・問題集1～20の難易度に違いはございません。様々な難易度の問題が入っております。



お問い合わせ等ございましたら、  
お気軽に下記営業担当者にお申し付けください

---

株式会社アイデミー 法人事業部

電話: 03-6868-0998(平日 10:00 – 17:00 受付)

メール: [support@aidemy.co.jp](mailto:support@aidemy.co.jp)